

地域像及びまちづくりの主な視点 新旧対照表

1. 駒込地域

	第8回改定検討委員会で示した案	今回の修正(案)
地域像	<p>「花とみどりが人々をつなぐソメイヨシノ発祥のまち」</p> <p>江戸時代から園芸の地であり、「ソメイヨシノ」発祥の地である歴史を受け継ぎ、現在も染井よしの桜まつりや駒込駅のツツジなど花とみどりが生活に息づく地域です。こうした地域特性を生かし、花とみどりで人々がつながるまちをめざします。</p>	<p>「江戸に咲いた園芸都市を引き継ぐまち」</p> <p>江戸時代、世界でも屈指の規模を誇る園芸都市として、ソメイヨシノやツツジを生み出した歴史と今でも花とみどりが生活に息づく地域の特性を生かして、人々のつながりを感じられるまちをめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心で快適なまちの形成（ハードとソフト両面からの防災性の向上） 地域で助け合う「共助」の意識を高めながら、防災や防犯、交通安全などハードとソフトの両面から取り組み、安全・安心で快適な住環境が広がるまちの形成が必要です。 ●人々のつながりを育むまちの形成（地域交流の充実） 子どもから高齢者まで、誰もが憩い、触れ合う公園や広場などがあり、日常生活の中で人のつながりを実感できるまちの形成が必要です。 ●日常生活を支える機能が充実した暮らしやすいまちの形成（身近な商店街と生活拠点の整備） 駒込駅周辺では商業・サービスなどの機能の充実や身近な商店街の活性化により、ライフステージに応じた暮らしやすいまちの形成が必要です。 ●花とみどり、文化が調和した生活空間の形成（歴史と文化の保全・継承、良好な住環境の形成） 地域の自然や歴史を示す寺社や樹木などの資源を保全し、次世代に継承していくとともに、花とみどりに包まれた、四季の彩りを感じられる良好な住環境の形成が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と協働した木造住宅密集地域の改善による災害に強いまちづくり 木密地域不燃化10年プロジェクトによる木造住宅密集地域の改善と共助による住民主体の防災活動を組み合わせて、安全・安心に住み続けられるまちづくりが必要です。 ●人々のつながりを育むまちづくり 公園や広場での触れ合い、防犯対策や交通安全、文化などの地域活動を通じて、人々のつながりを実感できるまちづくりが必要です。 ●日常生活を支える機能が充実した暮らしやすいまちづくり 駒込駅周辺での日常生活を支える機能の充実や身近な商店街の活性化により、利便性が高く、暮らしやすいまちづくりが必要です。 ●花とみどり、歴史と文化が息づくまちづくり ソメイヨシノやツツジを生み出した歴史や地域の文化を今に伝える寺社などを生かして、四季の彩りと歴史の趣を感じられるまちづくりが必要です。 ●ソメイヨシノ発祥の地をブランドにした個性あるまちづくり ソメイヨシノ発祥の地を地域のブランドとして、個性あるまちづくりが必要です。

2. 巣鴨・西巣鴨地域

	第8回委員会で示した内容	修正（案）
地域像	<p>「にぎわいと落ち着いた暮らしがふれあうまち」</p> <p>地蔵通り商店街のにぎわいと落ち着いた住宅地が織りなす、地域に暮らし、また、訪れる人々が触れ合うまちをめざします。</p>	<p>「旧中山道とともににぎわいを受け継ぐまち」</p> <p>旧中山道に位置する巣鴨地蔵通り商店街のにぎわいと落ち着いた住宅地が織りなす、暮らし人と訪れる人が触れ合うまちをめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<p>●安全・安心で暮らしやすいまちの形成（防災性の向上と良好な住環境の形成）</p> <p>狭あい道路の多い木造住宅密集地域の改善を進め、安全・安心に住み続けられるまちの形成が必要です。また、山手線と都営地下鉄三田線の駅がある交通利便性を生かし、昔から住む人と新しく移り住む人にとって暮らしやすいまちの形成が必要です。</p> <p>●歴史を引き継ぎ、未来につなぐ魅力あるまちの形成 （子どもたちに引き継ぐまちづくり）</p> <p>旧中山道や折戸通りなどの古くからある街道、JRや地下鉄の駅、都電荒川線の各停留所、谷端川や千川上水の流れていた道筋、学校等の大規模な施設や地域の生活に密着した商店街や公共施設など、これまで蓄積されてきた資源を生かし、過去から現在、そして未来に引き継ぐ魅力あるまちの形成が必要です。</p> <p>●活気あふれる商業と地域に密着した観光のまちの形成 （地域と観光資源が調和する商業業務拠点と商店街の整備）</p> <p>とげぬき地蔵の縁日のにぎわう商店街と巣鴨・西巣鴨両駅周辺の商業地を結び、地域に密着した観光地として、国内外から人々が集い、楽しむことができる活気のあるまちの形成が必要です。</p>	<p>●地域と協働した木造住宅密集地域の改善による災害に強いまちづくり</p> <p>木密地域不燃化 10年プロジェクトによる木造住宅密集地域の改善と共助による住民主体の防災活動を組み合わせて、安全・安心に住み続けられるまちづくりが必要です。</p> <p>●旧街道の歴史と文化を生かしたまちづくり</p> <p>旧中山道や折戸通りなど古くからの街道で培われてきた歴史と文化を、地域の資産として生かしたまちづくりが必要です。</p> <p>●巣鴨地蔵通り商店街の魅力を生かしたまちづくり</p> <p>巣鴨地蔵通り商店街と駅周辺の商業地を結び、日常生活と密着した観光地の魅力を発信して、国内外から人々が訪れるまちづくりが必要です。</p> <p>●心地よい暮らしを子どもたちに引き継ぐまちづくり</p> <p>商店街での触れ合いや落ち着いた暮らし、鉄道と都電が通る交通利便性など、昔から住み続けてきた人と新しく住み始めた人にとって、心地よい環境を子どもたちに引き継いでいくまちづくりが必要です。</p>

3. 大塚地域

	第8回委員会で示した内容	修正（案）
地域像	<p>魅力あふれる拠点に人々が集う暮らしやすいまち</p> <p>人々が何度も訪れたいと感じる魅力ある拠点とともに、安全・安心な住環境がある、にぎわいと暮らしやすさを実感できるまちをめざします</p>	<p>「鉄道と都電が交差する拠点に人々が集うまち」</p> <p>都電の走る風景や都電沿いのバラなど、人々が何度も訪れたいと思う魅力ある拠点を形成し、安全・安心でにぎわいを実感できるまちをめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<p>●安全・安心で快適なまちの形成（防災性と防犯性の向上）</p> <p>狭あい道路の多い木造住宅密集地域が広がることから、地域全体で防災性を高めるとともに、防犯対策に取り組み、安全・安心なまちの形成が必要です。また、幹線道路沿道では、良好な景観のある快適なまちの形成が必要です。</p> <p>●駅を中心に人々が集うまちの形成 （拠点となる駅周辺の再整備、回遊性の向上）</p> <p>大塚駅周辺では、交通結節機能の強化、広場などの快適な歩行者空間の整備、回遊性の向上、良好な景観の形成などが必要です。また、新大塚駅周辺では、大塚駅との連携を強化し、生活の利便性が高い拠点の形成が必要です。</p> <p>●活発な交流に支えられた魅力ある顔をもつまちの形成 （都電を生かした街並み形成、質の高い公園の整備、コミュニティの形成）</p> <p>人々の触れ合いや活発な地域活動、生活に密着した商店街や公共施設などがある豊かなコミュニティと、都電のある風景、谷端川が流れていた道筋、JR山手線の土手や橋から望む風景など、地域資源を生かした魅力あるまちの形成が必要です。</p>	<p>●安全を実感できるまちづくり</p> <p>日頃から、住民が主体となって災害対策に取り組み、地域全体の安全性を高めるまちづくりが必要です。</p> <p>●利便性の高い駅を中心に人々が集うまちづくり</p> <p>大塚駅周辺では、交通結節機能の強化やユニバーサルデザインを推進し、人々の回遊性を高めるとともに、新大塚駅周辺では大塚駅との連携を強化し、日常生活を支えるまちづくりが必要です。</p> <p>●地域で支え合う安心で暮らしやすいまちづくり</p> <p>都電沿いのバラの手入れや防犯活動、日常生活を支える商店街の活性化など、地域コミュニティによる暮らしやすいまちづくりが必要です。</p> <p>●鉄道や都電の風景を生かしたまちづくり</p> <p>JR山手線沿いから望む風景や都電の走る姿など、地域の個性を生かしたまちづくりが必要です。</p>

4. 池袋本町・上池袋地域

	第8回委員会で示した内容	修正（案）
地域像	<p>「多世代が支え合い安全・安心に暮らし続けられるまち」</p> <p>旧鎌倉街道に沿って発達した古くからの地域コミュニティを基礎として、木造住宅密集地域の改善や学校、公園などを活用した防災まちづくりを進め、都市計画道路や北池袋駅及び下板橋駅周辺の整備とあわせて、多世代が支えあい、安全・安心に笑顔で暮らし続けられるまちをめざします。</p>	<p>「多世代が出会いふれあうまち」</p> <p>旧鎌倉街道沿いの古くからの地域コミュニティと新しく移り住む人が支え合い、災害に強く、多世代が笑顔で暮らせる安全・安心なまちをめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<p>●安全・安心で美しく快適なまちの形成（防災性と潤いの向上）</p> <p>地域全体が木造アパートなどにより建て詰まり、狭あい道路が多い木造住宅密集地域です。都市計画道路の整備とあわせて、住民との協働により防災まちづくりを進め、安全・安心で快適であるとともに、公園や緑道などを活用した潤いのある美しいまちの形成が必要です。</p> <p>●魅力ある住環境を支えるコミュニティのあるまちの形成（総合的な住環境の改善・向上）</p> <p>近年、マンションなどが多く立地し、新たな住民の増加などにあわせた多様なライフステージに対応するとともに、都市計画道路の整備にあわせた沿道まちづくりを進め、魅力ある住まいと下町的な風土を持つ地域コミュニティや生活マナーが守られるまちの形成が必要です。</p> <p>●便利で活気あるまちの形成（駅利便性の向上、生活拠点機能の充実）</p> <p>北池袋駅及び下板橋駅周辺の商店街、公園や寺社など、人々が触れ合うにぎわいのある拠点を形成し、多世代が安心して暮らせるとともに、都市計画道路の整備などにあわせて、北池袋駅及び下板橋駅へのアクセス性を高め、便利で活気のあるまちの形成が必要です。</p>	<p>●地域と協働した木造住宅密集地域の改善による災害に強いまちづくり</p> <p>木密地域不燃化 10年プロジェクトによる木造住宅密集地域の改善と共助による住民主体の防災活動を組み合わせて、安全・安心に住み続けられるまちづくりが必要です。</p> <p>●暮らしを支えるコミュニティを育むまちづくり</p> <p>下町的な雰囲気を残した地域コミュニティと新たな住民がともに支え合い、相手を思いやるマナーを育みながら、多世代が安心して暮らし続けられるまちづくりが必要です。</p> <p>●日常生活を支える利便性の高いまちづくり</p> <p>北池袋駅及び下板橋駅の周辺へのアクセスを改善し、日常生活を支える機能が充実した利便性の高いまちづくりが必要です。</p> <p>●旧鎌倉街道や寺社の歴史と谷端川緑道を生かしたまちづくり</p> <p>旧鎌倉街道の歴史や地域の文化を今に伝える寺社、谷端川北緑道のみどりを生かしたまちづくりが必要です。</p>

5. 池袋東地域

	第8回委員会で示した内容	修正（案）
地域像	<p>「多彩な魅力があふれる池袋副都心」 商業、業務、行政の中核としての発展に加え、文化、交流、情報発信等の新しい機能を積極的に導入し、多彩で魅力的なまちをめざします。</p>	<p>「多彩な魅力があふれる池袋副都心」 商業機能を中心に業務、文化、交流、情報発信、娯楽などの都市機能の高度な集積と国内外に新たな文化の創出を支える高い安全性を備えた都市をめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ●首都機能の一翼を担う都市の形成（副都心機能の充実） 商業機能の充実・強化とともに、業務、文化、交流、情報発信など多様な都市機能の高度な集積により、池袋副都心が持つ多彩な魅力を高め、国内外から人々が訪れる副都心機能の充実が必要です。 ●安全・安心で快適なまちの形成 （道路基盤、防災機能を備えた公園の整備、防犯に配慮したまちづくり） 木造住宅密集地域の改善や公園の整備、帰宅困難者対策の強化などにより、区全体や地域の防災性を高めるとともに、地域主体の防犯活動による安全・安心なまちの形成が必要です。 ●歩きやすく楽しいまちの形成（にぎわいの連続性が感じられる都市空間の形成） 池袋副都心では、人々が集い憩う公園の整備やオープンスペースの創出、外国人を含む誰にも分かりやすいサインの充実やユニバーサルデザインによる歩行者空間の整備、連続した街並み景観の形成などにより、人々の回遊性の向上が必要です。 ●環境に優しく、潤いあるまちの形成（エネルギーの効率的な利用とみどりの創出） 地域冷暖房施設の活用や清掃工場の排熱利用、都市の資産となるみどりの創出などにより、エネルギー効率が高く、潤いあるまちの形成が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●首都機能の一翼を担う都市づくり 東京の魅力を担う商業や業務機能が高度に集積し、個性ある文化を国内外に発信する池袋副都心では、災害に強く、訪れる人や就業者の安全性を確保する都市づくりが必要です。 ●地域と協働した木造住宅密集地域の改善による災害に強いまちづくり 木密地域不燃化 10 年プロジェクトによる木造住宅密集地域の改善と共助による住民主体の防災活動を組み合わせて、安全・安心に住み続けられるまちづくりが必要です。 ●人と環境に優しい都市づくり 環状5の1号線の整備による交通環境の変化を契機に、自動車に過度に依存しない人と環境に優しいまちづくりが必要です。 ●国内外の人々を惹きつける文化芸術の創出を支えるまちづくり 東京オリンピック・パラリンピック開催とその先を見据えて、国内外に個性ある音楽や舞台芸術、サブカルチャーをはじめとする文化を発信し、人々が訪れるまちづくりが必要です。 ●誰もがまちを楽しめるユニバーサルデザインのまちづくり 池袋駅周辺では、誰もが安全に回遊できるユニバーサルデザインによるまちづくりが必要です。 ●スマートにエネルギーを利用するまちづくり エネルギー利用の効率性が高く、災害にも強い自立・分散型エネルギーシステムを備えたまちづくりが必要です。 ●グリーン大通りから広がるみどりと景観のまちづくり グリーン大通りを中心に広がる街路樹や新たな防災公園のみどりを生かして、人々が集い、にぎわうまちづくりが必要です。

6. 池袋西地域

	第8回委員会で示した内容	修正(案)
地域像	<p>「芸術文化を育む池袋副都心」 商業、業務、行政の中核としての発展に加え、立教大学や東京芸術劇場等を拠点に、ファッション、情報、芸術文化、交流などの新しい機能を積極的に導入し、人々を惹きつける魅力あるまちをめざします。</p>	<p>「芸術文化を育む池袋副都心」 商業機能を中心に業務、文化、交流、情報発信、娯楽などの都市機能の高度な集積や東京芸術劇場と立教大学を中心とした国内外に芸術文化の創出を支える高い安全性を備えた都市をめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<p>●芸術文化都市の形成（副都心機能の充実、地域資源を生かしたまちづくり） 立教大学や東京芸術劇場などまちのシンボルとなる文化、交流施設を中心に魅力的なイベントにより集客力を向上させるなど、国内外から人々が集まる芸術文化のまちの形成が必要です。</p> <p>●安全・安心で快適なまちの形成（防災性の向上） 東京都が指定する避難場所である立教大学周辺や事業中の補助 173 号線沿道、道路が狭く木造建築物が密集している地区などでは、建築物の不燃化とみどり豊かな街並みづくりによる安全・安心で快適なまちの形成が必要です。</p> <p>●歩きやすく楽しいまちの形成（みどり豊かな魅力ある都市空間の形成） 立教大学、谷端川や元池袋史跡公園など地域の自然や歴史、生活に密着した商店街や公共施設などを生かした魅力ある都市空間の維持・向上が必要です。また、池袋副都心では、景観の向上や豊かなみどりによる魅力ある都市空間の形成、歩行者空間の整備、ユニバーサルデザインによるサインの充実など、人々の回遊性を高める清潔で快適なまちの形成が必要です。</p> <p>●環境に優しいまちの形成（エネルギーの効率的な利用） 地域冷暖房施設の活用や豊島清掃工場の排熱利用の検討などにより、エネルギー効率が高いまちの形成が必要です。</p> <p>●池袋副都心にふさわしい憩いの空間の形成（公園の再整備、街並みの魅力の創出） 池袋駅西口周辺では多くの訪れる人が憩うことができる、立教大学や東京芸術劇場等が立地する教育文化のまちにふさわしい広場や公園の再整備、魅力的な街並みの形成が必要です。</p>	<p>●東京芸術劇場と立教大学を中心にした芸術文化の都市づくり 文化・交流機能や教育施設の集積を生かして、国内外に池袋副都心が生み出す芸術文化を発信する都市づくりが必要です。</p> <p>●首都機能の一翼を担う都市づくり 東京の魅力を担う商業や業務機能が高度に集積し、個性ある文化を国内外に発信する池袋副都心では、災害に強く、訪れる人や就業者の安全性を確保する都市づくりが必要です。</p> <p>●国内外の人々を惹きつける芸術文化を創出するまちづくり 東京オリンピック・パラリンピック開催とその先を見据えて、国内外に池袋国際演劇祭やフェスティバル／トーキョーなどの国際的な舞台芸術の魅力を発信し、人々が訪れるまちづくりが必要です。</p> <p>●誰もがまちを楽しめるユニバーサルデザインのまちづくり 池袋駅周辺では、誰もが安全に回遊できるユニバーサルデザインによるまちづくりが必要です。</p> <p>●スマートにエネルギーを利用するまちづくり エネルギー利用の効率性が高く、災害にも強い自立・分散型エネルギーシステムを備えたまちづくりが必要です。</p> <p>●アゼリア通りや立教通りから広がるみどりと景観のまちづくり 訪れる人や学生でにぎわうアゼリア通りや立教通りなどを生かして、個性ある街並みを創出するまちづくりが必要です。</p>

7. 雑司が谷地域

	第8回委員会で示した内容	修正（案）
地域像	<p>「歴史と文化に包まれたみどり豊かなまち」</p> <p>歴史と文化に包まれた、閑静でみどり豊かな潤いのある環境を保全するとともに、防災性の強化や住環境の改善を住民と協働して進め、安全で安心して住み続けられるまちをめざします。</p>	<p>「江戸時代から続く歴史と文化に包まれたまち」</p> <p>鬼子母神や雑司ヶ谷霊園などの歴史と文化、みどりに包まれた閑静な環境を生きしながら、災害に強く、安全・安心に住み続けられるまちをめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心で快適なまちの形成（防災性の向上による住環境の改善） 狭あい道路の改善や建築物の不燃化などにより、安全・安心で快適なまちの形成が必要です。また、みどりの拠点である雑司ヶ谷霊園は、人々が集い、憩う空間とするとともに、東京都が指定する避難場所として防災上の重要な拠点の形成が必要です。 ●地域にふさわしい街並みの誘導（新しい都市基盤の整備と街並みの形成） 環状5の1号線の整備とあわせて、沿道の景観への配慮に取り組み、住民との協働により、地域にふさわしい街並みを形成することが必要です。 ●歴史を醸し出す落ち着いたまちの形成（閑静な住宅地、歴史と文化、みどりの保全） 鬼子母神や雑司が谷旧宣教師館、多くの文人が眠る雑司ヶ谷霊園など、豊かな歴史と文化、みどりの保全が必要です。また、弦巻川の流れていた道筋、旧鎌倉街道、由緒ある社寺、都電荒川線、地域に密着した商店街や公共施設などを生かした住環境の向上により、落ち着いたまちの形成が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と協働した木造住宅密集地域の改善による災害に強いまちづくり 木密地域不燃化 10年プロジェクトによる木造住宅密集地域の改善と共助による住民主体の防災活動を組み合わせて、安全・安心に住み続けられるまちづくりが必要です。 ●都電と新たな道路を生かしたまちづくり 都電の走る風景や雑司が谷と豊島区新庁舎を結ぶ環状5の1号線を、地域の個性にしたまちづくりが必要です。 ●個性ある歴史と文化を生かしたまちづくり 鬼子母神や法明寺、雑司が谷旧宣教師館、雑司ヶ谷霊園、旧鎌倉街道などの歴史と文化を生かしたまちづくりが必要です。 ●みどり豊かで落ち着いた雰囲気を感じられるまちづくり 雑司ヶ谷霊園や鬼子母神などを中心に、豊かなみどりと落ち着いた雰囲気を感じられるまちづくりが必要です。

8. 高田地域

	第8回委員会で示した内容	修正（案）
地域像	<p>「自然と歴史を感じる暮らしと子どもたちを育むまち」</p> <p>山吹の里の碑や社寺が連なる旧鎌倉街道や桜並木、染物工場、神田川など、自然や歴史を身近に感じる暮らしと次世代が安心して住み続けられるまちをめざします。</p>	<p>「神田川と坂、歴史の情緒を感じられるまち」</p> <p>神田川や坂道の自然、山吹の里の碑や社寺が連なる旧鎌倉街道の歴史、伝統を受け継ぐ染物工場の営みなどを身近に感じられるまちをめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心で快適なまちの形成（住環境の改善、防災性・防犯性の向上） 狭あい道路の改善や建築物の建替えなどにより、防災性の向上を図るとともに、防犯対策の強化に取り組み、安全・安心で快適なまちの形成が必要です。 ●住宅地と都市型産業が調和するまちの形成（各種機能の調和） 多くの工場が立地していましたが、近年では共同住宅等に用途転換が進んでおり、周辺住宅地と調和した活気あるまちの形成が必要です。 ●坂と川がある景観を大切にしまちの形成（美しい景観の保全） 変化に富んだ坂道や神田川の桜並木、面影橋、高戸橋、旧鎌倉街道、都電荒川線と学習院下停留所、さらに生活に密着した商店街や公共施設などを生かして快適な空間や景観を形成し、閑静な住宅地と一体となった自然環境の豊かなまちの形成が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心を実感できるまちづくり 日頃から、住民が主体となって災害対策や防犯活動に取り組み、地域全体の安全・安心を高めるまちづくりが必要です。 ●子どもたちが安心して住み続けられるまちづくり 自然や歴史を感じながら、地域の中で次世代を担う子どもたちを育み、安心して住み続けられるまちづくりが必要です。 ●住宅地と都市型産業が共存するまちづくり 神田川沿いにある工場が共同住宅へと変わる中で、工場の操業環境と落ち着いた暮らしが共存するまちづくりが必要です。 ●神田川と坂がある景観を大切にしまちづくり 神田川沿いの桜並木や面影橋、変化に富んだ地形、旧鎌倉街道に点在する神社などと閑静な住宅地が一体となったまちづくりが必要です。

9. 目白地域

	第8回委員会で示した内容	修正(案)
地域像	<p>「みどり豊かで格調の高い文教のまち」</p> <p>みどり豊かで閑静な住宅地を中心に、落ち着いた暮らせる街並みを保全するとともに、大学をはじめとした文化・教育機能の集積を生かし、洒落た雰囲気とにぎわいのあるまちをめざします。</p>	<p>「格調の高い洒落た文教のまち」</p> <p>みどりの潤いあふれる住宅地、学習院や自由学園明日館などの文化・教育施設を生かして、洒落た雰囲気を感じられる格調の高いまちをめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<p>●みどりの拠点とコミュニティが支える安全・安心なまち (防災性の維持・向上)</p> <p>東京都が指定する避難場所である学習院は、区内で最大の緑地であり、自然のままの環境を残す豊かなみどりとオープンスペースを保全するとともに、地域と大学など多様な主体が協働し、地域の防災力を高める必要があります。</p> <p>●文教のまちにふさわしい閑静で暮らしやすいまち(良好な住宅地の保全)</p> <p>敷地規模が比較的大きく、樹木の豊かな住宅が多くみられ、閑静で格調の高い住宅地の保全が必要です。また、学習院や川村学園、徳川黎明会、自由学園明日館、目白庭園、目白の森や生活に密着した商店街、公共施設などを生かして、文教地区にふさわしい落ち着いたある街並みの保全が必要です。</p> <p>●洒落た駅前の落ち着いたにぎわいのあるまち(交流拠点の充実)</p> <p>目白駅周辺では、目白通り沿道などの洒落た店舗などを生かしながら、落ち着いた環境の中で、まちの散策やショッピングを楽しむことができる交流空間の形成とともに、日常生活に密着した商業・サービス機能の充実が必要です。</p>	<p>●大学と地域コミュニティがともに支える安全なまちづくり</p> <p>避難場所である学習院を中心に、地域と大学をはじめ多様な主体が協働し、地域の防災力を高めるまちづくりが必要です。</p> <p>●落ち着いた文教地区にふさわしいまちづくり</p> <p>学習院や川村学園、徳川黎明会、自由学園明日館などの教育・文化施設が集積する文教地区にふさわしい、落ち着いたあるまちづくりが必要です。</p> <p>●学習院や低層住宅地のみどりを生かしたまちづくり</p> <p>自然のままの環境を残す学習院や低層住宅地のみどりを生かしたまちづくりが必要です。</p> <p>●洒落た雰囲気を感られるまちづくり</p> <p>目白駅周辺では、洒落たショップや個性ある小道などを生かして、落ち着いた雰囲気を楽しめるまちづくりが必要です。</p>

10. 高松・要町・千川地域

	第8回委員会で示した内容	修正(案)
地域像	<p>「人々がふれあう閑静なまち」</p> <p>道路が整備された良好な住環境の保全と防災性の向上とあわせて、住民が交流を促進し、人々が触れ合うまちをめざします。</p>	<p>「みどりとふれあいのある閑静なまち」</p> <p>みどり豊かで閑静な住環境の中で、多世代が触れ合い、交流を育むまちをめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<p>●安全・安心で快適なまちの形成（防災性の向上）</p> <p>地域の一部には、狭あい道路や狭小宅地が多い木造住宅密集地域があり、地域主体の防災まちづくり活動により、安全・安心で快適なまちの形成が必要です。</p> <p>●多様な交流のあるまちの形成（地域交流の充実）</p> <p>人々が触れ合い、地域コミュニティを育む商店街や多様な地域活動ができる公園などにより、活発な交流のあるまちの形成が必要です。</p> <p>●みどりあふれる閑静なまちの形成（良好な住宅地の保全）</p> <p>みどり豊かで良好な住環境、地域の自然や歴史を示す千川上水、比較的整備が進んだ道路や生活に密着した公共施設、商店街などを生かして、生活の利便性や快適性の維持・向上を図るとともに、良好な住環境を保全し、閑静なまちの形成が必要です。</p>	<p>●安全・安心を実感できるまちづくり</p> <p>日頃から、住民が主体となって災害対策や防犯活動に取り組み、地域全体の安全・安心を高めるまちづくりが必要です。</p> <p>●駅や公園を中心とした庶民的で暮らしやすいまちづくり</p> <p>駅周辺の庶民的な商店街や公園などでは、子どもから高齢者までの多世代が交流できる快適で暮らしやすいまちづくりが必要です。</p> <p>●利便性の高い閑静な住宅地を魅力にしたまちづくり</p> <p>東京メトロ副都心線の開通により向上した利便性と閑静な低層住宅地を魅力として、地域の価値を高めるまちづくりが必要です。</p> <p>●アトリエ村の面影を感じられるまちづくり</p> <p>池袋モンパルナスの文化を生み出したアトリエ村の面影が、地域の中で感じられるまちづくりが必要です。</p> <p>●寺社や個性のある公園、低層住宅地のみどりを生かしたまちづくり</p> <p>地域の歴史を伝える寺社、千川彫刻公園、低層住宅地などのみどりを生かしたまちづくりが必要です。</p>

11. 長崎・千早地域

	第8回委員会で示した内容	修正（案）
地域像	<p>「街角にうるおいと人のふれあいのある暮らしやすいまち」</p> <p>駅前をはじめとする活気と親しみのある商店街や地域コミュニティの活性化、公園や広場のみどりの保全、住宅地の緑化への取り組み等のきめ細かな配慮により、潤いと人々の触れ合いがある暮らしやすいまちをめざします。</p>	<p>「街角で池袋モンパルナスの文化に出会えるまち」</p> <p>アトリエ村の面影、商店街や地域コミュニティでの触れ合い、個性ある公園や住宅地のみどりが生み出す潤いに街角で出会える災害に強いまちをめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<p>●安全・安心で快適なまちの形成（防災性の向上）</p> <p>木造住宅密集地域の改善を進めるとともに、住民を中心にした防災まちづくり活動による、安全・安心で快適なまちの形成が必要です。</p> <p>●充実したコミュニティがある庶民的な暮らしやすいまちの形成（生活拠点の充実、地域コミュニティの活性化）</p> <p>椎名町駅、東長崎駅、要町駅及び千川駅周辺は、庶民的で活気のある商店街がある、暮らしやすいまちの形成が必要です。</p> <p>また、椎名町駅と東長崎駅の駅前広場や快適な歩行者空間の充実、自転車駐車場の利用マナーの向上など、地域の玄関にふさわしいまちとともに、人々の触れ合う地域コミュニティや生活マナーが守られた質の高いまちの形成が必要です。</p> <p>●歩いて楽しく、潤いのある美しいまちの形成（住みよい住宅地の保全・形成、公園やみどりの充実）</p> <p>庭木のある住宅やマンション、洒落た店舗や画廊など、地域特性を重視した歩いて楽しく美しいまちの形成が必要です。</p> <p>また、歴史や自然を示す千川上水、谷端川とその水源である粟島神社、西武池袋線、生活に密着した商店街や公園、みどり、公共施設などを生かして、にぎわいと潤いのある美しいまちの形成が必要です。</p>	<p>●地域と協働した木造住宅密集地域の改善による災害に強いまちづくり</p> <p>木密地域不燃化10年プロジェクトによる木造住宅密集地域の改善と共助による住民主体の防災活動を組み合わせて、安全・安心に住み続けられるまちづくりが必要です。</p> <p>●駅を中心とした庶民的で暮らしやすいまちづくり</p> <p>東京メトロ副都心線の開通により利便性が向上した駅周辺は、庶民的な商店街などを生かした快適で暮らしやすいまちづくりが必要です。</p> <p>●寺社や個性のある公園、低層住宅地のみどりを生かしたまちづくり</p> <p>地域の歴史を伝える寺社、小鳥がさえずる公園や千早フラワー公園、低層住宅地などみどりを生かしたまちづくりが必要です。</p> <p>●街角で地域の文化に出会えるまちづくり</p> <p>地域で受け継がれてきた伝統芸能、かつてのアトリエ村を偲ばせる画廊や洒落た店舗を生かしたまちづくりが必要です。</p>

12. 南長崎地域

	第8回委員会で示した内容	修正（案）
地域像	<p>「活気と魅力にあふれ、安全に暮らせるまち」</p> <p>買い物客でにぎわう商店街やコミュニティを活性化し、防災まちづくりを進め、にぎわいと交流があり、文化や潤いに満ちた、安全に暮らすことのできるまちをめざします。</p>	<p>「トキワ荘の記憶と健康づくりを個性にしたまち」</p> <p>トキワ荘にはじまるマンガ文化やスポーツを地域の個性として、地域の活力を高めるとともに、災害に強い安全なまちをめざします。</p>
まちづくりの主な視点	<p>●防災性や防犯性が高く、潤いのあるまちの形成 （防災性・防犯性の向上、みどりの充実）</p> <p>地域の大半は耕地整理により整備されましたが、狭あい道路や狭小宅地による木造住宅密集地域が多いことから、住環境の改善や住民主体の防災まちづくりを進め、災害に強いまちを形成するとともに、防犯性を高めることが必要です。また、公園や住宅地のみどりを充実した潤いあるまちの形成が必要です。</p> <p>●生活利便性が高く、庶民的で暮らしやすいまちの形成 （生活拠点の充実、駅の利便性・快適性の向上）</p> <p>椎名町駅及び東長崎駅周辺は、庶民的で活気のある商店街を生かした暮らしやすいまちの形成が必要です。また、人が集中する駅前には、広場や快適な歩行者空間の充実、自転車駐車場の利用マナーの向上など、駅の利便性や快適性を高めた地域の玄関口にふさわしいまちの形成が必要です。</p> <p>●歴史と文化、健康・スポーツを育むコミュニティと交流のあるまちの形成 （歴史・文化や健康・スポーツの拠点と活動の充実、観光拠点や散策ルートの充実）</p> <p>落合南長崎駅周辺は、近年、南長崎スポーツセンターや商業施設などが整備されました。また、南長崎2・3丁目周辺は、トキワ荘など著名なマンガ家が多く暮らしていたまちであり、当時を偲び訪れる人が増えています。こうした地域資源を生かして、健康・スポーツや観光を特徴とするまちづくりや地域活動の活性化に取り組み、充実したコミュニティと交流のあるまちの形成が必要です。</p>	<p>●地域と協働した木造住宅密集地域の改善による災害に強いまちづくり 木密地域不燃化10年プロジェクトによる木造住宅密集地域の改善と共助による住民主体の防災活動を組み合わせて、安全・安心に住み続けられるまちづくりが必要です。</p> <p>●駅を中心とした庶民的で暮らしやすいまちづくり 駅周辺は、庶民的で活気のある商店街を中心とした暮らしやすいまちづくりが必要です。</p> <p>●個性のある公園や住宅地のみどりを生かしたまちづくり 南長崎スポーツ公園や南長崎原っぱ公園、低層住宅地などのみどりを生かしたまちづくりが必要です。</p> <p>●マンガとスポーツを個性にしたまちづくり 著名なマンガ家が青春時代を過ごしたトキワ荘の記憶や南長崎スポーツセンターなど、地域の個性を生かしたまちづくりが必要です。</p>